地域版 南薩

南薩支局
加世田市村原
☎0993-52-21
通信部
加世田
指宿
枕崎

工事ニュース、団体・企業ニュース、催し物などは支局、通信部へご連絡下さい。

地域交流施設が起工

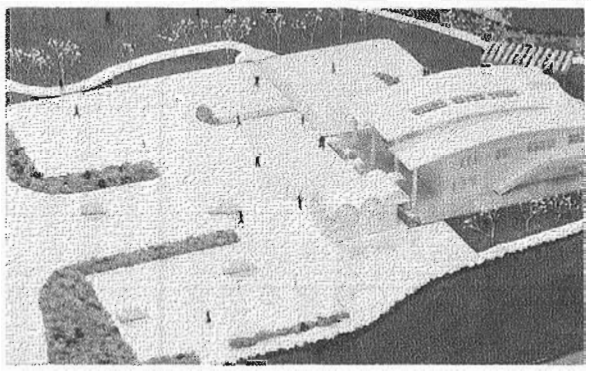
南九州第1号のPFI事業

指宿市

南九州地区で、第1号となるPFI（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）方式を採用する指宿市観音崎地区の「道の駅・地域交流施設」の安全祈願祭が8日、特別目的会社SPCをはじめ、指宿市、同市観光協会、地区住民らが出席して行われ、出席者全員で、工事の安全完工を祈願した。

この事業は、観音崎公園整備事業の一環として、(大木建設㈱、㈲ファインサプライ、指宿湊建設㈱、南日本総合サービス)が発起人となって、特別目的会社SPCを設立。同社が提案した計画が、地域交流の活性化を目的に休憩、物販、地域情報発信の拠点となる機能を提供するものとして十分であるものと判断され採用された。

場所は、指宿市小牧字礒52で、1・6㌶に及ぶ敷地には、地域特産物コーナーなどを設ける施設（S造2階建781㎡）の中には、自主運営コーナー（200・89㎡）、エントランスホール・休憩スペース（230・8㎡）、体験学習室（24㎡）、地域情報発信コーナー（12・3㎡）が建設される予定で、南九州初のPFI事業としても、県内外からもその動向に注目が集まっている。今後は10月1日のグランドオープンを目指し、整備が進められていく。



施設の完成予想模型

当日、祝賀式典が行われた神事には、特別目的会社SPCである㈱サニーケープ（山小田信幸社長、指宿市）をはじめ、指宿市、同市観光協会、地区住民ら約30人が出席。田原迫要指宿市長の刈り初めの儀をはじめとした地鎮の儀が執り行われた後、出席者全員で神前に玉串を捧げ、工事の無事と安全完工を祈念した。

田原迫市長は「従来の公共事業に対し、PFIを導入することで約36・7％の財政負担の削減が図れる。民間の資金や経営ノウハウを活用することによって、地域振興を含めた今まで以上のサービスを提供できるものと期待している」と語った。

安全を祈願する出席者＝指宿市の祝賀で

インタビュー席

頴娃建設業青年部建友会会長 堀之内 強 氏 ㊦

―これからの地方建設業の在り方とは

近年では、「地建地材」の観点から、地場産供給による地域活性の促進を図るために、地域材需要への取り組みが加速してきている。平成14年5月の建設リサイクル法の完全施行を皮切りに、15年7月に施行された建築基準法の改定により、シックハウス対策や床下換気システムの導入が義務付けられ、規制の基準が大幅に厳しくなってきた。また、今後は電子入札システム、CALS／ECの導入が控えるなど、まさに建設業界にとっては「大変革」の時が訪れようとしている。その中で、地方建設業にとって大切なことは、めまぐるしく変化し続けるこの時代の流れを的確に受け止め、より多くの情報を収集することでデータ構築をし、それから学んだことを各社のカラー（独自性）として、顧客へのサービスに生かしていくことが、地域に根差した地方建設業に求められていることではないかと考えている。

―会員に一言

現在、建設業はかつてない大不況下にあり、特に民間建築に関しては、統計上でも分かるように国の行政改革に伴う住宅金融公庫からの金利変動などによる融資制度の問題などもあって、新築の着工戸数が年々減少の一途をたどっている。

地方建設業

独自性や地域性が必要に

そこで、これからは会員相互での情報交換を密にすることで、リフォーム需要の掘り起こしなどを積極的に活動していきたい。また、各種技能資格の取得にも努め、各社が経営体質の改善を図りながら、より幅広く顧客のニーズに対応していけるように努力していただきたい。今後も技能講習会なども積極的に行い、さらなる会員の確保と増強に取り組んでいきたいと考えているので、協力をお願いしたい。

略歴

昭和53年に頴娃高校建築課を卒業。同年、鹿児島市内の建設会社へ入社、56年に退社した後に㈱徳永組に入社し、現在に至る。今まで印象に残った現場は、加世田高校のプール新築工事。「当時は今のように道路事情が良くなく、仮設道路なども設けられていなかったため、現場に着くまで片道40分以上を有したこともの。しかし、その分、現場の仲間との飲み方などでの交流も深まった」と当時を振り返る。好きな言葉は誠心誠意。「自分が提案するものが、必ずお客様に100％満足してもらえるとは限らない。訪問先の家を拝見しながら、どのような生活をしているかを感じ取ることが大切。常に「施工する側」だけでなく「依頼する側」の目線に立って考えると、自ずとお客様の方から心を開いてくれる」と持論を語る。趣味はゴルフとスポーツ観戦。休日は、もっぱら子供たちが参加するリトルリーグの観戦に余念がない。43歳。

スーパー・テラST－2000

代理店として本格営業

エスティ総研

㈲エスティ総研（園田貞子社長、枕崎市）は、シックハウス対策製品として国土交通省が国内で初めて塗料を認定した、㈱スーパーテラが販売する低汚染型水性無機質不燃塗料「ランデックススーパー・テラST－2000」、「WSウッドカラーST－1000」の鹿児島代理店として正式に契約、3月から本格的な営業を開始した。

「人、自然、環境にやさしく」を自らのライフワークとして掲げる園田社長が、環境面に対し十分に配慮された製品として、「ランデックススーパー・テラST－2000」と、「WSウッドカラーST－1000」の性能と㈱スーパーテラの方向性に共感。以後、15年秋頃から設立に向けて準備を進めてきたが、このほど本県での代理店として正式に契約し、本格的に業務を開始した。

園田貞子社長

両製品は、シックハウスの原因となっている屋内のVOC（ホルムアルデヒド、キシレン他）等、揮発性の高いあらゆる有機化合物を吸着分解できるほか、不燃性・耐久性・硬度にも優れた無公害水性塗料として、学校・病院等の公共施設をはじめ、住宅・店舗などの新増改築などの需要が期待される。

園田社長は「シックハウスの問題を勉強する中で、スーパーテラの商品と出会いました。弊社が取り扱う塗料は、さまざまなVOC対策商品のうち、国内で唯一国土交通省認定を得た、水性無機質不燃合格塗料です。現在、設計中、建築中の物件で使用検討いただきたいと思っております」と抱負を語った。

問い合わせ先は、㈲エスティ総研（枕崎市中央町254 ☎0993・72・5163 FAX72・5153）。

あのひと この人

加世田市企画課課長補佐 主事 **迫田 浩幸** さん

―仕事内容は。

国際交流推進協議会と広域圏協議会の企画などを主にしています。

―仕事上心がけていることは。

できる限り周りの人に迷惑をかけないようにすることと、常に人との交流を積極的に行うよう心掛けています。

―最近の出来事で。

先日、風邪をこじらせたのですが、いつもなら寝込むところが多忙な時期だったためか、悪化することなくクリアできました。「病は気から」を実感しましたね（笑）。

―今後の目標は。

経験を生かし、日本の文化や歴史を伝えられるような事に携わっていけたら幸せですね。それと、ただいま彼女募集中ですので、よろしくお願いします。

（加世田市）

老・廃塩ビ管
県下一円
回収致します!!

リサイクル材の受入れ価格と基準

〈分別方法〉
A(良　品)＝不純物が付着していない塩ビ管
B(不良品)＝不純物が付着している塩ビ管

(1かご当り：0.51㎥)

	A（良品）	B（不良品）
処分費	0円	2,000円
回収費	2,000円	
計	2,000円	4,000円

※回収費につきましては、地域により、別途追加料金を頂く場合があります。

～お問い合わせは～
株式会社アドバンス・アシスト
☎099-296-2226 担当 鶴田まで

購読料のお支払いはお手軽に自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ